



薬師寺小だより

第1号

令和2年4月10日
下野市立薬師寺小学校
校長 海老原 忠

教育目標 『ふるさとを愛し、夢に向かって高め合える子を育む』
・すすんで学ぼう ・心をみがこう ・体をきたえよう

令和2年度がスタートしました!!



本校校長としての2年目がスタートしました。今年は気持ちも新たに、わかる授業を展開し子どもたちの学力を向上させたい、運動もたくさんさせて体力をつけさせたい、ふるさと薬師寺についてもっとたくさんのことを学ばせたい・・・、といろいろなことを思い描いていたのですが、始まってすぐに臨時休業ということになりました。残念ではありますが、子どもたちとご家族の皆様の安全を確保するためにはやむを得ないことです。今年度は、予定していた行事等が延期や中止となることがたくさん出てくると思います。それでも限られた時間の中で、職員が一丸となって子どもたちのために精一杯考え、この困難を乗り越えていこうと思っています。

本校は、保護者の皆様や地域の皆様あつての学校です。昨年以上にお力をお借りすることが多々あると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

本校は、保護者の皆様や地域の皆様あつての学校です。昨年以上にお力をお借りすることが多々あると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

《教職員の定期異動により、職員の転出入がありました》（敬称略）

お世話になった先生方

- ①*****（石橋北小へ）
- ②*****（小山・大谷北小へ）
- ③*****（国分寺小へ）
- ④*****（吉田東小へ）
- ⑤*****（壬生小へ）
- ⑥*****（小山・網戸小へ）
- ⑦*****（御退職）
- ⑧*****（国分寺東小へ）
- ⑨*****（御退職）



新任の先生方

- ①*****（宇大附属特別支援学校より）
- ②*****（栃木・大平中央小より）
- ③*****（石橋小より）
- ④*****（新規採用）
- ⑤*****（県教委学校安全課より）
- ⑥*****（石橋北小より）
- ⑦*****（栃木・千塚小より）
- ⑧*****（県外より）
- ⑨*****（新規採用）
- ⑩*****（石橋中より）
- ⑪*****（石橋小より）
- ⑫*****（石橋中より）
- ⑬*****（吉田東小より）
- ⑭*****（筑西市より）

今年度は、児童数が昨年度より20名増えると共に学級も2学級増えました。それに伴い、多くの先生方をお迎えしました。子どもたちのために力を発揮してくださると思います。

《令和2年度の職員組織です。よろしくお願ひします。》

校長	*****	5年1組(主任)	*****	生活支援員	*****
教頭	*****	5年2組	*****	生活支援員	*****
教務主任	*****	6年1組(主任)	*****	生活支援員	*****
1年1組(主任)	*****	6年2組	*****	図書支援員	*****
1年2組	*****	なかよし1組(主任)	*****	新採後補充	*****
2年1組	*****	なかよし2組	*****	新採指導	*****
2年2組(主任)	*****	なかよし3組	*****	A L T	*****
3年1組	*****	通級指導教室ステップ	*****	J T E	*****
3年2組(主任)	*****	養護教諭	*****	育児休業中	*****
4年1組	*****	主任(事務)	*****	育児休業中	*****
4年2組(主任)	*****	公 仕	*****	育児休業中	*****
		学校支援	*****		

子どもたちの成長と幸せのために、教職員一丸となって教育活動を進めてまいります！

《4月8日 始業式》

4月8日、2～6年生の子どもたちが登校し始業式を行いました。この状況下では、子どもたちを体育館に集められないため、校内放送を使って行いました。どんな形であれ、新年度のスタートには変わりありません。子どもたち一人一人の1年後の成長した姿を思い浮かべながら、全教職員で支援していきたいと思ひます。

《4月9日 入学式》

天候にも恵まれ入学式を実施いたしました。今年の入学式は例年と異なり在校生のいない入学式でしたが、気持ちを込めて58名の1年生の入学をお祝ひしました。楽しい学校生活を送ってほしいと思ひます。



今年度も子どもたちの活動の様子を本校のホームページに掲載し、情報発信してまいります。時々ぞいでいただくと幸いです。よろしくお願ひします。

「<http://www.school.shimotsuke.ed.jp/index.html>」または「薬師寺小学校」で検索してください。

校長室の窓から

4月7日、始業式前日、体育館を出て歩き始めたところ、「せんせいー！」と大きな声が聞こえてきました。振り向くとその声は校庭にある学童保育施設からでした。1階の窓にも2階の窓にも手を振る子どもたちの姿があり、翌日の登校を楽しみにしている様子うかがえました。それと同時に、子どもたちの声で気持ちがパーッと明るくなる自分を再発見しました。やはり学校は、いつも子どもたちの声と笑顔があふれる場所であってほしいと改めて感じた出来事でした。